

○地区別家庭教育支援連携会議

家庭教育の支援に対しては、連携した取組が不可欠です。まずは、家庭教育の応援に対し、連携して取り組むとされる、保護者、祖父母世代、学校、地域活動団体、事業者等の関係者が、家庭教育の重要性を再認識することが大切です。そこで、各地区における家庭教育支援の体制を整備し、各団体等の連携した取組を推進するために、管内各町村にて「地区別家庭教育支援連携会議」を開催し、家庭教育支援への連携・協働をお願いしました。

高山村では、夏休み前に開催された「高山村防犯交通対策協議会・青少年問題協議会」(村長他、総勢117名)において、多くの関係者、団体が出席するなかで「今なぜ家庭教育なのか」「自分たちができる家庭教育支援は何か」など、家庭教育支援をそれぞれの立場や組織から行っていく必要と【地域の子供は地域で育てる】ことの重要性を確認することができました。



【高山村防犯交通対策協議会・青少年問題協議会】

○ワクワク子育てトークング ～ぐんまの親の学びプログラム～

「ワクワク子育てトークング」とは、参加者同士が「ぐんまの親の学びプログラム」を使って、役割演技等の手法で交流しながら、これまでの子供との関わり方を振り返り、これからの子育てについて話し合う参加体験型の学習会です。保護者はこの学習会を通して、親の声かけや対応の仕方によって変化する子供の気持ちや行動を想像したり、他の保護者の考えや意見を聞くことで新しい発見や気づきが生まれます。吾妻教育事務所では、子育てに悩んでいる保護者の気持ちが少しでも解消されるようお手伝いをさせていただきたいと考えています。今年度実施した東吾妻町立太田小学校PTA家庭教育学級では、低学年、高学年のブロックに分かれ、子供のほめ方しかり方をテーマに「ワクワク子育てトークング」を実施し、楽しい雰囲気の中でも真剣に子育てについて交流しました。参加者の感想では、「日頃、悩んでいたことが自分一人ではないことが分かり安心した」「子供との会話や接し方にも色々な方法があることに気付いた」「参加者の意見が参考になった」「悩みを話すことでスッキリすることができた」等、多くの感想をいただきました。



【東吾妻町立太田小学校PTA家庭教育学級】写真 左高学年 右低学年

- 聞いて安心
- 仲間と交流
- 話してスッキリ
- 新発見

家庭教育支援は、それぞれの立場から様々な応援ができます。あなた自身、そしてあなたの属する組織等で、できる応援はないでしょうか。

やってみよう「ワクワク子育てトークング」

皆さん、こんなお悩みはありませんか。

- ・子供がなかなか言うことを聞いてくれない。
- ・子供につい大きな声で怒鳴ってしまう。
- ・子供が約束を守ってくれない。
- ・思春期の子供と上手に接することができない。

こんな時にこそ「ワクワク子育てトークング」を実施してみませんか。きっと子育てのヒントが見つかります。

- ・自分にあった「子育てのコツ」に気付く!
- ・参加者同士の「交流」「つながり」がうまれる!



どうやって開催するの・・・?

「ワクワク子育てトークング」には講師はいません。代わりにファシリテーター(進行役)が、場を和ませながら参加者の学び合いをサポートします。地域や学校、各種団体等の研修会で「家庭教育について学習したい」「話し合いの場を設定したい」等の要望がありましたら、吾妻教育事務所生涯学習係まで気軽にご相談下さい。吾妻教育事務所の社会教育主事がみなさまの要望に応えた資料を持参し、開催いたします。

問い合わせ：吾妻教育事務所生涯学習係
TEL 0279-75-3370